

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:21-2

担当部局・担当課名:知事政策局 広報課

事業名	「富山県推奨とやまブランド」推進事業	評価結果	抜本的改善
-----	--------------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・事業の目的が複数あるが、できるだけシンプルにしないとうまくいかないのではないか。
- ・富山県のイメージアップが目的だとすれば、個別企業への補助金ではなく、PRに特化したほうがよい。
- ・目的に対して、リーフレットやパンフレットを配るだけでは効果がないのではないか。
- ・いくつもの商品をまとめてPRすることにどれほどの意味があるのか疑問。

【県民評価者の意見】

- ・県のPRはあまり効果が感じられない。これまでとは別の観点から抜本的にPR方法を改善したらどうか。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 16

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめた方がよい)	役割分担 見直し (市町村で実施)	抜本的改善 (目的・内容の整理)	一部改善 (検証方法等の改善)	現行どおり ・拡充 (これまでどおり)
	0	0	14	0	2
主な評価シートコメント 県民評価者の 評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 ・21品目あるという「富山の極上。」のリーフレットはなくし、ポスターだけでもいいのではないか。個別の品目ごとにせっかく選定したもの、ブランドが誇りになっていると所もあると思うので、残しつつPRの仕方を考えていけばいいと思う。もっと他県にアピールできるよう工夫できるといい。 ・もっとイメージをアップさせるならメディアを使わないと思います。 ・色々対策を打っているが、富山のブランド化に向けて立派な目標を掲げているが、一般の認知度が低いように思われる。他県の実情を参考にしてもう少しPR方法などを調査してはどうか。 ・リーフレットが無駄。多分どれだけ配っても効果無しだと思う。そこに予算をかけるくらいであればSNS(YouTube、インスタグラム)の方が効果があるのではないか。 ・とやまブランド認定品目にて食品、工芸品、産業製品などターゲット層が異なる品目が混在しているので、横並びでPRするのではなくターゲット層別にテーマに沿ったPRをした方が訴求力があると思います(品目が多すぎると印象に残らない)。また、PRの成果の検証も必要になると思います。 ・「明日のとやまブランド」の育成について力を入れると良いと思いました。				
	上記以外	【現行どおり・拡充】 ・地域間競争の時代において、とやまブランドの発掘・育成に県・市町村が連携して取組み、とやまブランドを通じた富山の魅力発信に努めることにより本県のイメージアップ、交流人口の拡大、地域産業の振興を図ることは大変意義がある。成果指標、広報戦略の見直しは必要。			

事業名	「富山県推奨とやまブランド」推進事業	評価結果	抜本的改善
------------	--------------------	-------------	-------

【参考】委員による評価

				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめた方が良い)	役割分担 見直し (市町村で実施)	抜本的改善 (目的・内容の整理)	一部改善 (検証方法等の改善)	現行どおり ・拡充 (これまでどおり)
	1	0	3	0	0

委員の 主な 評価 シ ー コ メ ン ト	<p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別企業への補助金ではなく、富山ブランドのマスへのPRに特化した方がよいのではないかと。個別企業への補助金は他部局で実施している事業との重複感もある。 ・まとめて広報が有効なのか分からない。ターゲットを絞ってやる必要がある。 ・目的、検証をよる具体的に明確にすべき。検証も大きすぎる。事業スキームの見直しが必要。 ・PR手法の高度化を望む。有名どころに一挙に補助金を入れ富山をPRした方がよい。「明日のとやまブランド」の構造も必要ない。 <p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージUP、交流人口拡大、観光振興、販路拡大などそれぞれの政策意義は否定しないが、それぞれに応じた戦略が必要ではないか。将来的には行政の関与不要。 				